

日 付	平成29年8月4日（金）	天 気	晴れ（最高気温20℃）
主な日程	オランブラ花卉市場視察 東山コーヒー園視察		
タイムスケジュール	研 修 内 容	研 修 の 写 真	
6：00 ホテル出発	サンパウロから約130kmの距離にあるオランブラにバスで移動をしました。道中、移民に関する映画を視聴し、当時ブラジルで起こっていた日系人の勝ち組、負け組の対立について学びました。		
8：00 オランブラ花卉市場視察	オランブラ花卉市場に到着後、市場の責任者エリサ・ベッチさんより説明を受けました。この市場には400人の生産者が関わり、ブラジル全土の花の45%がこの市場で流通をしています。人の職員で1日に2000万台のトラックを受け入れて出荷します。この日、金曜日ということもあり、私達が到着した頃にはせりは終了していました。通常、月曜日と水曜日に忙しくなるため、金曜日から月曜日の準備を進めているそうです。市場では、せりをする施設以外にも、農家から仕入れた花を購入できる店舗などもあり、せりをしない人でも花を購入することが出来ます。		
11：30 オランブラにて昼食	オランブラの街はレンガ造りの家や、カラフルな色の家が多く、サンパウロの街とは違う雰囲気を味わうことが出来ました。この日はここで昼食をとりました。		
14：00 東山コーヒー農園視察	東山コーヒー農園は、農園面積が900haあり、そのうち300haに約130万本ものコーヒーの木が植えられています。日本人ガイドの案内で、このコーヒー園が作られた歴史について説明を受けました。その後、実際に農園を視察しました。初めてコーヒーの実を見ることができ、コーヒーの果肉はとても甘く、出荷する生豆になるまでには多くの行程があることを知りました。 これまで、私はコーヒーをあまり飲んだことが無かったのですが、これを期にコーヒーを飲んで楽しみたいと思いました。		
◇1日を終えて	オランブラの花卉市場はとても大きく、その市場ではどんなことをしているのか話を聞くことが出来ました。昼食では、この日に誕生日を迎えた派遣生の森崇智さんのパーティーをしました。レストランの人の協力で楽しい時間を過ごせました。 コーヒー農園では、1年に500tから600tものコーヒー豆を収穫できると聞き、世界一位のコーヒー生産地ということに改めて実感しました。この日の反省会では、翌日の県人会との交流会で渡す寄せ書きを作成しました。（担当 諏訪）		

大規模なオランブラ花卉市場

昼食で森君の誕生パーティー

広大な東山コーヒー農園

県人会の皆様にする寄せ書き作成